

平成 29 年 7 月 9 日（日）施行

第 187 回 全経簿記能力検定試験 1 級 商業簿記・会計学 解説

第 1 問

1. 企業会計原則 第一 一般原則 四
2. 企業会計原則 第二 損益計算書原則 一 A

第 2 問

1. 商品券・他店商品券

当店発行の商品券の受け取りにより商品券（負債）が減少し、他店発行の商品券の受け取りにより他店商品券（資産）が増加する。

2. 有価証券の預かり

$$500 \text{ 株} \times @ \text{ ¥}2,470 = \text{ ¥}1,235,000$$

3. 割賦販売

利益率は 25% また、12 回均等払いより、毎月の回収額は $\text{ ¥}2,400,000 / 12 \text{ 回} = \text{ ¥}200,000$

このうち利益分は $\text{ ¥}200,000 \times 25\% = \text{ ¥}50,000$

未実現の利益 $\text{ ¥}50,000 \times 3 \text{ 回分} = \text{ ¥}150,000$ を控除する。

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目	7 回目	8 回目	9 回目	10 回目	11 回目	12 回目
利益	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
原価	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000

4. 欠損てん補

欠損額に対して、資本準備金の取崩額が上回っているため、欠損てん補分との差額 $\text{ ¥}300,000$ は資本準備金減少差益勘定を用いる。

5. 資産除去債務

除去時点で、その支出が法令によって定められる費用の現在価値 $\text{ ¥}246,700$ は資産除去債務として負債に計上し、同額を備品の帳簿価額に加える。

6. 外貨建取引

$$\text{前受金は } \$3,500 \times @ \text{ ¥}113 = \text{ ¥}395,500$$

$$\text{商品発送時の残金は } (\$35,000 - \$3,500) \times @ \text{ ¥}109 = \text{ ¥}3,433,500$$

第3問

(1) 売買目的有価証券

売買目的有価証券は決算時に時価で評価替えをする。

徳島会社株式 (@ ¥2,940 - @ ¥2,800) × 800 株 = ¥112,000 (運用益)

香川会社株式 (@ ¥1,230 - @ ¥1,500) × 1,300 株 = △ ¥351,000 (運用損)

以上より

¥112,000 + (△ ¥351,000) = △ ¥239,000 (運用損)

(借) 有価証券運用損	239,000	(貸) 売買目的有価証券	239,000
-------------	---------	--------------	---------

(2) 満期保有目的債券

取得価額は

¥5,000,000 × (¥98.2 / ¥100) = ¥4,910,000

償却原価法(定額法)により当期分(保有期間10ヶ月)の償却額は

$$(\text{¥}5,000,000 - \text{¥}4,910,000) \times \frac{10 \text{ か月}}{60 \text{ ヶ月}} = \text{¥}15,000$$

また、前回利払日(11月末)から4ヶ月経過しているため、利息の見越計上額は

$$\text{¥}5,000,000 \times 1.8\% \times \frac{4 \text{ か月}}{12 \text{ ヶ月}} = \text{¥}30,000$$

以上より

(借) 満期保有目的債券	15,000	(貸) 有価証券利息	45,000
未収有価証券利息	30,000		

(3) 子会社株式

子会社株式については、決算時における時価による評価替えは行わないが、その時価が著しく下落し、回復する見込みがない場合は減損処理をする。

(¥2,100 - ¥4,700) × 26,500 株 = △ ¥68,900,000 (評価損)

(借) 子会社株式評価損	68,900,000	(貸) 子会社株式	68,900,000
--------------	------------	-----------	------------

(4) その他有価証券

その他有価証券は決算時に時価で評価替えをする。

① 愛媛会社株式 (@ ¥1,500 - @ ¥1,200) × 2,400 株 = ¥720,000 (評価益)

繰延税金負債: ¥720,000 × 30% = ¥216,000

(借) その他有価証券	720,000	(貸) 繰延税金負債	216,000
		その他有価証券評価差額金	504,000

② 高知会社株式 (@ ¥800 - @ ¥850) × 1,700 株 = △ ¥85,000 (評価損)

繰延税金資産: ¥85,000 × 30% = ¥25,500

(借) 繰延税金資産	25,500	(貸) その他有価証券	85,000
その他有価証券評価差額金	59,500		

①②を相殺して

(借) その他有価証券	635,000	(貸) 繰延税金負債	190,500
		その他有価証券評価差額金	444,500

第4問

【工事進行基準】

①A 工事契約

A 工事は前期に着工している。前期の工事完成高計上額は

$$145,800 \text{ 千円} \times \frac{57,000 \text{ 千円}}{57,000 \text{ 千円} + 43,000 \text{ 千円}} = 83,106 \text{ 千円}$$

当期に完成しているのので、当期完成工事高計上額は

$$145,800 \text{ 千円} - 83,106 \text{ 千円} = 62,694 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 44,000 千円

②B 工事契約

B 工事は当期に着工している。当期の工事完成高計上額は

$$68,400 \text{ 千円} \times \frac{43,500 \text{ 千円}}{43,500 \text{ 千円} + 6,500 \text{ 千円}} = 59,508 \text{ 千円}$$

当期発生工事原価は 43,500 千円

①②より

完成工事高は 62,694 千円 + 59,508 千円 = 122,202 千円

完成工事原価は 44,000 千円 + 43,500 千円 = 87,500 千円

よって完成工事総利益は 122,202 千円 - 87,500 千円 = 34,702 千円

【工事完成基準】

工事完成基準は、完成時に完成工事高を計上する。当期に完成した工事は A 工事である。

完成工事高は A 工事の 145,800 千円

完成工事原価は 57,000 千円（前期分） + 44,000 千円（当期分） = 101,000 千円

完成工事総利益は 145,800 千円 - 101,000 千円 = 44,800 千円

第5問

〔資料2〕 検討事項

1. 現金過不足の処理

(借) 現金過不足	600	(貸) 前受金	550
雑損	50		

2. 仮払金の処理

(借) 建設仮勘定	1,200	(貸) 仮払金	19,800
仮払法人税等	9,000		
仮払消費税	8,800		
退職給付引当金	800		

3. 仮受金の処理

(借) 仮受金	16,700	(貸) 償却債権取立益	100
		仮受消費税	16,600

4. 消費税の処理

(借) 仮受消費税	16,600	(貸) 仮払消費税	8,800
		未払消費税	7,800

5. 仕入割引の処理

仕入割引は仕入から控除するのではなく、営業外収益とする。

(借) 仕入	1,800	(貸) 仕入割引	1,800
--------	-------	----------	-------

[資料3] 決算整理事項

1. 受取手形と売掛金の期末残高は 1,500 千円 + 1,800 千円 = 3,300 千円

貸倒引当金は 3,300 千円 × 3.0% = 99 千円

残高試算表の貸倒引当金残高は 50 千円なので、差額補充法により、

(借) 貸倒引当金繰入	49	(貸) 貸倒引当金	49
-------------	----	-----------	----

2. 期末商品の評価

@6.0 千円

@5.9 千円

商品評価損	棚卸減耗費
a 商品	

3,890 個 4,000 個

商品評価損

(@6.0 千円 - @5.9 千円) × 3,890 個 = 389 千円

棚卸減耗費

@6.0 千円 × (4,000 個 - 3,890 個) = 660 千円

@2.5 千円

@2.3 千円

商品評価損	棚卸減耗費
b 商品	

5,930 個 6,000 個

商品評価損

(@2.5 千円 - @2.3 千円) × 5,930 個 = 1,186 千円

棚卸減耗費

@2.5 千円 × (6,000 個 - 5,930 個) = 175 千円

帳簿棚卸商品

a 商品 6.0 千円 × 4,000 個 = 24,000 千円

b 商品 2.5 千円 × 6,000 個 = 15,000 千円

} 39,000 千円

棚卸減耗費…660 千円 + 175 千円 = 835 千円

商品評価損…389 千円 + 1,186 千円 = 1,575 千円

(借) 仕入	46,000	(貸) 繰越商品	46,000
繰越商品	39,000	仕入	39,000
棚卸減耗費	835	繰越商品	835
商品評価損	1,575	繰越商品	1,575

3. 減価償却

建物 (定額法) 残存価格ゼロ

(118,000 千円 - 0 千円) / 40 年 = 2,950 千円

(借) 減価償却費	2,950	(貸) 建物減価償却累計額	2,950
-----------	-------	---------------	-------

機械 (定率法) 償却率 0.250

(30,000 千円 - 7,500 千円) × 0.250 = 5,625 千円

(借) 減価償却費	5,625	(貸) 機械減価償却累計額	5,625
-----------	-------	---------------	-------

車両運搬具（生産高比例法）残存価額 10%

$$(1,600 \text{ 千円} - 160 \text{ 千円}) \times (75,000 \text{ km} / 30,000 \text{ km}) = 360 \text{ 千円}$$

(借) 減価償却費	360	(貸) 車両運搬具減価償却累計額	360
-----------	-----	------------------	-----

減価償却費：2,950 千円 + 5,625 千円 + 360 千円 = 8,935 千円

4. 借地権償却

耐用年数 30 年（360 ヶ月）のうち前期末で 33 ヶ月償却が終わっている。

残存期間 327 ヶ月で 1,308 千円なので

当期の借地権償却額は $1,308 \text{ 千円} \times (12 \text{ ヶ月} / 327 \text{ ヶ月}) = 48 \text{ 千円}$

(借) 借地権償却	48	(貸) 借地権	48
-----------	----	---------	----

5. 退職給付引当金

(借) 退職給付費用	900	(貸) 退職給付引当金	900
------------	-----	-------------	-----

※退職給付引当金決算整理前残高 6,800 千円 当期繰入額 900 千円

退職一時金の支払 800 千円 より

貸借対照表負債の部 退職給付引当金の額：6,800 千円 + 900 千円 - 800 千円 = 6,900 千円

4. 貸付金の利息

平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日まで（3 ヶ月）の利息が当期の受取利息である。

ただし、期限に元金とともに受け取るので、未収収益として処理する。

$$2,000 \text{ 千円} \times 2.0\% \times (3 \text{ ヶ月} / 12 \text{ ヶ月}) = 10 \text{ 千円}$$

(借) 未収収益	10	(貸) 受取利息	10
----------	----	----------	----

8. 費用の繰延

向こう 5 年分（60 か月）支払の保険料 1,200 千円のうち、

平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日（12 か月）

$$1,200 \text{ 千円} \times 12 / 60 = 240 \text{ 千円} \rightarrow \text{前払費用}$$

平成 30 年 1 月 1 日以降（40 か月）

$$1,200 \text{ 千円} \times 40 / 60 = 800 \text{ 千円} \rightarrow \text{長期前払費用}$$

(借) 前払費用	240	(貸) 保険料	1,040
長期前払費用	800		

9. 法人税の計上

税引前当期純利益は 61,990 千円となるので、法人税等の金額は

$$61,990 \text{ 千円} \times 30\% = 18,597 \text{ 千円}$$

〔資料 2〕 2 より、仮払法人税等が 8,800 千円あるので

(借) 法人税等	18,597	(貸) 未払法人税等	9,797
		仮払法人税等	8,800

【問 4】

$$\text{ROA (総資産営業利益率)} = \frac{\text{営業利益}}{\text{総資産}} = \frac{59,398 \text{ 千円}}{300,518 \text{ 千円}} = 19.765\% \rightarrow 19.8\%$$